

「今、お店で見較べるべき“新時代”に向けた“新しい”ピアノ教本特集!!」

新しい時代の子供たちのために新しい感覚で作られた、2020年以降に発刊された新しいピアノ教本を集めました！音楽を「長く」「楽しく」学んでもらいたいピアノの先生にとって、子供たちにどのようなテキストを選ぶかは最も重要なことです。これまで使ってきたテキストをどの子供にも一辺倒に使わせることは、もしかしたら知らないうちにピアノを習う子供の関心や成長を妨げてしまっているかもしれません。

その為ひとりひとり異なる環境と能力を持つ子供たちに向き合い、どの教本を選んだらいいのかを選ぶ必要性が現代のピアノの先生に求められています。そして、子供たちの適正に合わせて、ピアノを教える先生たちもまた新しい教育方法を学び、音楽の魅力を伝えていく必要があるのではないのでしょうか？

音楽を「楽しく」「長く」続けてもらうために、厳選したこれらの教本をぜひ手に取って見較べてみてはいかがでしょうか♪

ハノンの前に ピピ ハノン

ドレミ楽譜出版
寺田浩子 著
1,100円(税込)



ピアノを習いはじめたばかりの生徒にはハードルが高いフィンガートレーニングを、わかりやすく、楽しく、達成感を得やすく学習できる。

音色とテクニックが同時に身につく
びあのエクササイズ1

ピアノメソッド
黒河好子 著
1,870円(税込)



幼児期から確かな基本テクニックを習得できるように考えられたヨーロッパピアノに繋がる基本テクニック習得の為の指導法。

ひとりですすいひける！
はじめてのピアチャレ

音楽之友社
山本美芽 著
1,320円(税込)



音符の中に「どれみ」のかな振り、弾く場所がすぐわかる鍵盤図付きなので、一人でどんどん進められるのが特徴。

Piano Lesson 88 編集部
楽器・楽譜の総合卸商社 株式会社プリマ楽器
〒103-0004 東京都中央区東日本橋 1-1-8 Tel.03-3866-2221(担当:笹沼)

ピアノランド+プラス だいすきくまモン
固定5指で弾ける連弾

音楽之友社
樹原涼子 著
1,540円(税込)



5本指へのスムーズな移行を助け、弾くのに精一杯だった子どもにも「フレーズ」とは何かを教えることができる。

ピアノスターター スタディ&ドリル 1
しってる曲をドレミファソ音で

共同音楽出版
小林寛 著
1,540円(税込)



アニメ調のキャラクターが異世界でピアノを始めて成長するストーリーで、動画を用いた音名読みなど独特の世界観を構成。

バイエルに入る前に はっぴー・びあの1

サーベル社
遠藤蓉子 著
1,408円(税込)



ピアノを習いはじめたばかりの小さな子供がバイエル・コースに備えるためにト音記号の高いドから入っていくテキスト。

はじめてのピアノ おさるのど ぶれいびあの1

ドリームミュージックファクトリー
真仲礼子 著
880円(税込)



音符の学習をしながら、楽しくピアノ練習が進められるように、音符を動物にイメージ化して読譜力を養います。

『ぴあのどりーむ』でおなじみ、ピアノ導入期教育の第一人者、田丸信明先生による「新・導入教材シリーズ」、ついに完結！

forte piano [ふおるて ぴあの] 高音部記号からはじまるピアノテキスト

ふおるて ぴあの 4 (曲集テキスト)

Gakken 田丸信明編 1,540円(税込)

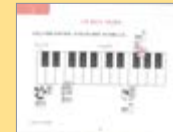


★曲集テキスト第4巻の収録曲★

クローバー みつけたよ(田丸信明)／なぞなぞ あそび(外国民謡)／ほしの ひかり(ドイツ民謡)／わたしの ねがい(田丸信明)／こひつじの ゆめ(田丸信明)／まほうの ふえ(モーツァルト)／(発表会用の曲)みずうみの ようせい(田丸信明)…ほか、全29曲

ふおるて ぴあの ワークブック 4

Gakken 田丸信明編 1,320円(税込)



★第4巻のカリキュラム★

8分音符・8分休符・付点4分音符・全休符の導入／強弱記号の導入／音階・調性・主要3和音(カデンツ)の導入／指かえ、指ひろげ、指くぐりといった指使いの導入…ほか

“新しい生活様式”に生きる子どもたちへ…。ピアノ導入期教育の第一人者、田丸信明先生が想いをこめて新たに作り上げた、『ぴあのどりーむ』と異なるアプローチの新・導入教材シリーズ『forte piano(ふおるて ぴあの)』。ピアノに初めて触れる子どもたちの、夢あふれる音楽の世界への素敵な出発を後押ししたい…そんな田丸先生の願いが込められているシリーズが、このたび発売となる第4巻をもって完結します。

シリーズコンセプトは「〈はじめて〉から美しくメロディをかなでるセンスのために」。そしてシリーズをとおして「ト音記号をちゃんとよもう、ひこう」「無理なく、楽しく」「右手も、左手も同じように動くように」「ピアノと語り合うように親しく」「ながく記憶に残るものを」をテーマに工夫を凝らしました。

本シリーズのカリキュラムの最大の特長は、〈高音部記号=ト音記号からはじまる〉、つまり「ハイC」=鍵盤の中央より少し右寄りの音域(音名は二点ハ、c²)を中心に、ト音記号の音域を両手で広げていく、ということです。このアプローチは、メロディラインが書かれることが多いト音記号の譜読みを重要視し、より生活の中での音楽が楽しめるものとなっています。

もちろん、カリキュラムはゆるやかに細まれ、ピアノ・レッスンが子どもたちにとって「無理がないこと」「楽しいこと」となるよう、そして「ピアノを弾くこと」の楽しさを存分に味わえるよう考え抜かれています。

完結篇となる第4巻のカリキュラムのテーマは「感性豊かな演奏をめざして」における。

ポイントとしては、1拍未満の音価を含む音符や休符(1/8分音符)「8分休符」「付点4分音符」などの導入、低音部記号の音域の広がり、また強弱記号、調の音階と和音の導入、などが挙げられます。

さらに〈指を広げる〉〈くぐらせる〉などの演奏法も体験。より多彩になるメロディの楽しさや美しさを感じ取り、表現力豊かな演奏を目指します。

同時発売のワークブックは、やや高度になった第4巻のカリキュラムに準じつつ、『forte piano』ならではの楽しい設問やレイアウトにするため、田丸先生はもちろん、イラストレーター、デザイナー…と皆で知恵を寄せ合いました。楽しく、ためになるワークブックとなっています。

『forte piano』でピアノを学んだ子どもたちに、笑顔があふれますように！(Gakken編集部)



フンメル博士からの助言



[シリーズ2] ピアノ・ピアニスト・ピアノ音楽 第51回

読者の皆様こんにちは！ピアノのレッスンや練習はいかがでしょうか？前回のハンス・フォン・ビューローのショパンの24の前奏曲作品28のかなり詳しい解説はいかがだったでしょうか？今月もさらに24の前奏曲に関連する話題をお届け致します。もしばらくお付き合い下さい。 岳本 恭治

■ショパン:24の前奏曲 作品28

アルフレッド・コルトーの標題をご紹介致します。

アルフレッド・コルトー(1877年スイス-1962年スイス)20世紀前半のフランスを代表するピアニスト。指揮者、教育者、著述家。パリ音楽院でルイ・ディエメに師事。1907年にパリ音楽院の教授に就任。1919年、自らの音楽学校エコール・ノルマルを設立し、同年パリ音楽院を辞任。1952年来日。ショパン、シューマンなどのロマン派、フランスからドビュッシーにいたるフランス近代を得意とした。美しいタッチと個性的なテンポ・ルバートで深い詩情と多彩な感情を描き出した。日本では「コルトー版」といわれる「学習版」の楽譜が知られている。コルトーは「1日あたり午前中を中心に、5時間以内の練習をするように」と言っている。演奏の無駄な動きを軽減するための運指法の確立に貢献。門下には、ディヌ・リパッティ、クララ・ハスキル、遠山慶子、エリック・ハイドシェックがいる。エコール・ノルマルのマスタークラスのレッスンは、まるで詩人の朗読のように多くの語彙で行われた。ほとんど言葉に頼らず簡潔に指示を出すマルグリット・ロンとは正反対の態度である。

大変お待たせいたしました。ショパン前奏曲集につけたアルフレッド・コルトーの標題です。(全音楽譜出版社:「プレリュードとロンド」から引用)

- 第1番 ハ長調: いとしい人待つ
- 第2番 イ短調: 郷愁の思い、遠く開けた海のような。
- 第3番 ト長調: 小川のうた
- 第4番 ホ短調: 親指で
- 第5番 ニ長調: うたであふれた木々
- 第6番 ロ短調: ホームシック
- 第7番 イ長調: すてきな思い出が香水のよう


- に記憶の中に香っている
- 第8番 嬰へ短調: 雪が降り風が吹き嵐が吹き荒れる。しかし私の悲しい心の中の嵐はもっとすさまじい
- 第9番 ホ長調: 予言者の声
- 第10番 嬰ハ短調: 降りてくるロケット
- 第11番 ロ長調: 少女のあこがれ
- 第12番 嬰ト短調: 夜の乗馬
- 第13番 嬰へ長調: 外国で星の多い夜、遠くにいる恋人を思う
- 第14番 変ホ短調: 嵐の海
- 第15番 変ニ長調: しかし死は物陰にいる
- 第16番 変ロ短調: 深いふちへ向かって走る
- 第17番 変イ長調: 彼女は私に言った「あなたを好きです」
- 第18番 へ短調: 祈り
- 第19番 変ホ長調: つばさ、あなたのところへとんでいく、私の恋人
- 第20番 ハ短調: 葬送
- 第21番 変ロ長調: 先祖のもとへ一人帰る
- 第22番 ト短調: 反乱
- 第23番 へ長調: 水の精のたわむれ
- 第24番 ニ短調: 生、官能、死



岳本 恭治 (日本J.N.フンメル協会 会長)

ではまた。次号でお会いしましょう。

リフレッシュ・ピアノ・メソッド
春秋社 岳本 恭治著
ピアノを習う人が思い違いしがちなこと、勘違いしがちなことを取り上げながら、ピアノへの正しい向き合い方や、本当に効果のある練習方法をわかりやすく解説。



岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジ・ディプロマ取得。演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノ・脱力奏法ガイドブック vol.1~3」(サーベル社)、「江戸でピアノを」(未知谷社)、「リフレッシュ・ピアノ・メソッド」(春秋社)等多数。現在、国立音楽院指導講師、日本J.N.フンメル協会会長、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。岳本先生ホームページ: <http://hummel1778.com/>



ピアノレッスンの今後



♪♪ Music Key Lesson ♪♪ 岩瀬洋子・田村智子

中学から親元を離れ寮生活を送って3年。この春そのまま無事に高校に進学したS君。長期の休みを使い、レッスンは何とか続けています。この春休みの最後のレッスン時、「先生～今度夏休みに又来るね。」と、にこやかに手を振る姿にちょうど1年前の春休みのことを思い出しました。「今の学校を辞めて地元の中学に通いたい!」そんな気持ちをぶつけてきた昨春が嘘のように今は穏やかです。きっと辛いこともあった学校、そして慣れない寮生活だったことでしょう。どう乗り越えることができたのか…彼曰く「僕が僕でいられたのは“ピアノ”だと思う。」1~2年生のころは、軽音楽のサークルに入り、ピアノが弾けることで、先輩の高校生の輪の中にも入れてもらい、幅広い音楽に触れる経験は楽しく、彼の心を随分癒してくれたそうです。ただ勉学中心の生活は、孤独との戦いであり、沢山の葛藤があったんだと思います。そんな中、春休みになる前、彼からメールが届きました。「先生～あのさ～僕、“幻想即興曲”…ショパンの…弾けると思う?」…と。「あの曲いいよね～。弾きたいんだ～。弾けるんじゃないか?」「ほんとっすか～。じゃあ春休みその曲持っていきませう。」「りょうか～い!」そして春休み…3回のレッスンで何とか最初の1ページちょっとまで進めようと思いましたが、やる気まんまんのS君。最初のレッスンで、一緒に曲の分析をやり、だいたいの曲の作りが分かったようです。その上での右手の練習はとて効果的に進めることができます。2回目のレッスンでは前回の確認と左手。同様に分析し実際に練習して確認します。そして3回目。前回までの確認。家でも練習したようで、片手は何か弾けるようになりました。さあ～いよいよ合わせです。右手に、左手の拍の音のみ入れてみました。左手の低音と高音を確認します。ここは弾けるというより練習の仕方が分かればOK。最後は右手4音、左手3音の合わせ方です。最初の1小節のみをとりだします。すでに拍の頭は分かっていますので、その他の音の合わせるタイミングを本に書き込みます。

練習の仕方が分かったS君が一言。「先生～夏休みまでにやるのが分かった。まずはゆっくり弾けるように、練習します。勉強の合間にうまくピアノの練習入れ込んで気分転換します!」おばあちゃんに買ってもらった“くるくる巻きのピアノ”で必死に練習しているS君の姿が目に見えます。色々辛いこともあるだろうけれど、何とか乗り越えてほしい…きっとS君にとってピアノはますます大切な宝物になるだろうな…。♥(*^-^*)♥

♪ミュージックキーお問合せは musickeynagaizumi@gmail.com

【岩瀬洋子によるピアノ導入指導法セミナー】

『演奏に活きるリズム・ソルフェージュ』(録画受講可)
10:00~12:00(講座)
+12:00~13:30(スペシャルタイム:各自ランチ持参)
★5/15(水)《リズム打ちはばっちり!でもピアノで弾けない!》
★7/10(水)《音楽力を付けるレッスン!成績UPに親も納得!》
会場:ストーンリバー
(名古屋市中村区則武1丁目4-14:新幹線口より徒歩2分)

『リズム・ソルフェージュ編』(録画受講可)
10:00~12:00(講座)
+12:00~13:30(スペシャルタイム:各自ランチ持参)
★5/16(木)No.1《感じるリズムは演奏に即効果あり!》
★7/11(木)No.2《ソルフェージュ?!大切なのは分かるけれど…どうレッスンに取り入れる?》
会場:三浜文化会館 3F練習室C
(三重県四日市市海山道町一丁目1532-1)

『楽譜がスラスラ読める!そんな生徒を育てよう!』東京会場
《譜読み編》(録画受講可)
10:30~12:30(ランチ会:自由参加)
★5/24(金)《教えたはずなのに…その思い込みが、思わぬ落とし穴に!》
★7/5(金)《譜読みに欠かせない大事な押さえ所…いかにインパクトを持って伝えるか!》
会場:表参道カワイ・パウゼにて

♪お申込み・お問合せ
ミュージックキー <http://www.musickey-piano.com/>
担当:植松 Tel 055-989-3900

